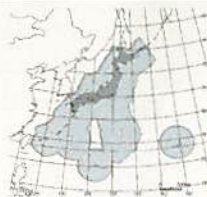


地理

日本の位置と領土 p128～139

- 1 北海道の東の海上にある、日本北端の島。
- 2 台湾の東側にある、日本の西端の島。
- 3 小笠原諸島の東方のはなれた海上にある、日本の東端の島。
- 4 波による浸食を防ぐため護岸工事がほどこされた、日本の南端の島。
- 5 「1」の島をふくめ、現在ロシア連邦に返還を要求している日本固有の領土。
- 6 島根県に属する日本固有の領土であるが、韓国に占拠されている島。
- 7 日本固有の領土であるが、中国が所有権を主張している島々。



世界の地形と日本の地形 p142～149

- 8 本州の太平洋側を北上する暖流。
- 9 北海道の北方にある千島列島に沿って、太平洋を南下する寒流。



日本の気候と災害 p150～153

- 10 季節で向きが変わる風。日本では、夏は南東から、冬は北西からふく。
- 11 災害の被害が予測される範囲や、避難経路・避難場所を示した地図。

世界の人口分布と変化 p156～159

- 12 国や地域の人口を面積で割ったもの。
- 13 アジア州やアフリカ州に多い、工業が開発途中の国。
- 14 子どもの数が減り、高齢者の割合が高くなること。

世界と日本の資源・エネルギー p160～163

- 15 二酸化炭素の排出などが原因で、地球規模で気温が上昇すること。
- 16 環境保護と開発を両立させた、将来の世代に継承できる社会。
- 17 水資源を利用した発電。ダムを利用するため、山間部に多い。
- 18 石油、石炭、天然ガスなどを燃料として利用した発電。
- 19 ウランが核分裂するときに発生した熱を利用した発電。



日本の産業 p164～169

- 20 国内で消費される食料のうち、国内で生産された食料の占める割合。
- 21 いけすなどの囲いの中で、人工的に魚介類を育てて捕獲する漁業。
- 22 稚魚をある程度まで人工的に育てて放流し、成長したら捕獲する漁業。
- 23 関東沿岸部から九州北部にかけて、帯状に連なる臨海工業地域。
- 24 愛知県を中心とする工業生産額が日本一の工業地帯。
- 25 東京都、神奈川県、埼玉県に広がる工業地帯。

- 26 金属工業やせんい工業がさかんな、日本海側の工業地域。
- 27 九州北部の工業地域。鉄鋼業で発展し、現在は自動車工業がさかん。
- 28 輸入した原料を加工し、製品を輸出する貿易。

結びつく世界と日本国内 p172～175

- 29 輸送方法のうち、航空機を利用するもの。
- 30 輸送方法のうち、船舶を利用するもの。



歴史

ヨーロッパ人の来校 p104～105

- 31 1543年、種子島に漂着したポルトガル人が日本に伝えた武器。
- 32 1549年、日本にキリスト教を伝えた宣教師。



全国統一への道 p106～109

- 33 室町幕府をほぼし全国統一をめざした、尾張の戦国大名。
- 34 「33」の人物が行った、安土城下で、商工業の活発化をめざして行われた政策。
- 35 関白となって全国を統一し、朝鮮出兵を行った人物。
- 36 「35」の人物が行った、全国の田畑の面積と収穫量を調べ、石高という単位で表した政策。
- 37 「35」の人物が行った、農民から武器を取り上げた政策。



江戸時代の始まり p112～113

- 38 「35」の死後、全国の大名が2つに分かれて、現岐阜県で行った戦い。
- 39 豊臣氏に代わって全国を支配し、征夷大將軍となった人物。
- 40 1603年、関東地方に開かれた武士の政權。
- 41 大名の領地や、その領地での支配の仕組み。
- 42 幕府が大名を統制するために出した法律。
- 43 大名が1年おきに江戸と領地を往復すること。



江戸時代の身分と生活 p114～115

- 44 村に住み、全人口の8割以上を占めた農民などの身分。
- 45 城下町に住んだ、商人・職人などの身分。
- 46 村に住む人々が、石高の半分程度の米を藩や幕府に納めさせた税。



江戸初期の外交 p116～117

- 47 九州で、キリスト教徒らが起こし、幕府に鎮圧された一揆。
- 48 スペイン・ポルトガル船の来航禁止や日本人の海外への渡航・帰国の禁止を定めた、幕府の3代將軍。
- 49 江戸幕府による、禁教・貿易統制・日本人の海外渡航禁止の政策。
- 50 1641年以降、オランダ商館がおかれた、長崎県の人口の島。

